

## 会派行政視察報告書

令和4年8月26日

伊勢市議会議長 様

政友会 宿 典泰

日 程 8月16日(火) 13:10~14:50

視察先 静岡県焼津市 焼津消防防災センター

所 感

「ドローンを活用した防災対策」について

導入のきっかけは、平成27年7月大雨により土砂崩落が発生し人的、物的被害は無かった。

陸上より迂回調査の結果、倒木であったが確認のすべなく自治会長の発言で「ドローンのようなものがあれば上空から確認できるのになあ・・・」これを受けて

市長は「災害対策本部機能の強化」「災害情報の見える化」を推進することとなった。無人航空機1機の導入から平成28年4月「防災航空隊(ブルーシーガールズ)」を発足、設置した。

防災航空隊の編制をおこない。その組織は、隊長、副隊長、第1小隊9名、第2小隊8名(道路・河川・広報・農政など平時での活用が検討される部局)とした。

次に、操縦士(パイロット)の育成を行うため、全国自治体初となる講習団体となり、庁内にDJIインストラクター(資格者)を保有した。

- ① 主力機「インスパイア2」 : 2名での操縦、ズームカメラ、物件投下用アーム、LED照明など
- ② 捜索・救難活動に優れた「マトリス210」 : 赤外線カメラ搭載、高倍率ズームカメラなど

○ドローン導入・活用の利点は、平時において様々な場所への調査が行える。消防現場での多面的利用が出来るため活動範囲が大きくなる。危険地域への導入が可能となる。

○ドローン導入の課題としては、ドローン本体の寿命、搭載機器が高額、操縦士の訓練と人材育成、夜間の飛行が難しい事、雨天時は避ける、バッテリーが共有できない。バッテリーの消耗がある。

以上、検討課題はあるものの導入時には計画的な財源と他部署が利用したときの費用負担を考える必要がある。また、操縦士など人材の育成、人材の異動が課題となる。国では操縦士免許を免許制にする動きもあり、今後の動向を注視したい。



日 程 8月17日(水) 10:00~12:00

視察先 埼玉県久喜市鷲宮総合支所

「GIGA スクールを通して育む資質能力」自治体デジタル化、STEAM 教育モデル授業  
について

所 感

旧久喜市、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町は平成22年3月23日に1市3町が合併し現在の久喜市となる。その後、市政運営においても教育においても「ALL KUKI」を合言葉に推進している。

「久喜市版未来の教室実現に向けて」では、(資料添付)

GIGA スクール一人一台端末 Chromebook 体験

GIGA スクール Lab 事業教材紹介及び体験会

- ・時間・距離に制約されないオンライン教育の実施
- ・客観的・継続的データに基づく個別最適な学びを提供する
- ・汎用的な能力を養う STEAM 化された学びを提供する
- ・総合型アプリケーションによる校務の効率化を実現
- ・ICT を使いこなしつつ、人間教師の良さを生かした学びのコーディネーターたる教師を育成

タブレット端末でプログラミング操作・作成 (資料添付)

3D プリンターでの制作作品の紹介、ドローンの教材などの紹介

Google との連携、パートナー自治体として実施している。

以上、久喜市の教育について私は大変感動しました。次世代の教育が培われていると感じました。一人も取り残さない教育を実践していると感じた。

日程 8月18日(木) 9:25~12:00

視察先 東京都品川区 品川区総合庁舎

「子どもたちのアイデアを活かした公園ワークショップ」について

## 所感

ワークショップをを活用した整備事例報告により、品川区基本構想では3つの理念を掲げている。その一つに「区民と区との協働で、私たちのまち品川区をつくる」とあり、区の未来を担う子どもたちが、自らの手で公園を計画する。

- ・公園を身近に感じてもらう。
- ・まちづくりへの参加の意識を持つ。
- ・公園への愛着を深める。

取り組みとしては、

期間 : 平成20年12月~平成21年3月までに4回のワークショップ開催

対象者を市内の3年生~5年生20名とした。

子どもたちのアイデアを活かした公園づくりワークショップとして

- 第1回 自分たちの遊びを振り返る。
- 第2回 大人たちが昔遊んだ遊びを学ぶ。
- 第3回 体験したことのない遊びを経験しアイデアを出す。
- 第4回 公園基本計画案を考えて、模型を作る。(写真)

## 『整備事例』

平成22年度 鮫洲運動公園・二葉公園

平成26年度~平成27年度 東品川公園

平成29年度 荏原南公園・しながわ区民公園

今回の取り組みについては、

子どもたち自身が自らの手で公園を計画するというコンセプトを引き継ぎつつ、障害の有無にかかわらず、みんなが一緒に遊べる公園のアイデアを考えるとした。

期間 : 令和元年1.0月~令和2年7月までに6回開催

対象者を小学生3年生~4年生30名とした。

- 第1回 参加者が仲良く自由に色々な意見が出せる雰囲気づくり
- 第2回 障害に対する理解、人の多様性及び多様なニーズがあることを学ぶ  
特別支援学校の先生の協力
- 第3回 実際に障害の状況を経験する。(車いす・アイマスク)
- 第4回 ユニバーサルデザインに対する理解を深める。
- 第5回 アイデアを絵にする。(アイデアカードを1冊の本にした) 公園の模型を作る。
- 第6回 成果の発表、グループ(5人6グループ)ごとの計画案を発表、全体で共有する。

## 『整備事例』

大井坂下公園改修 第1号公園 総額3億円(内東京都が3千万円補助)

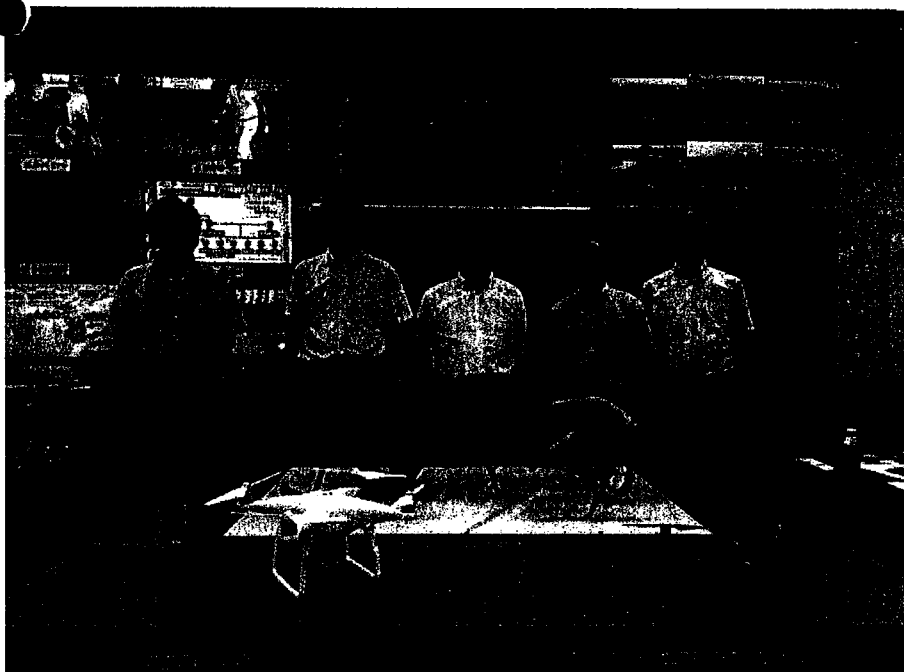
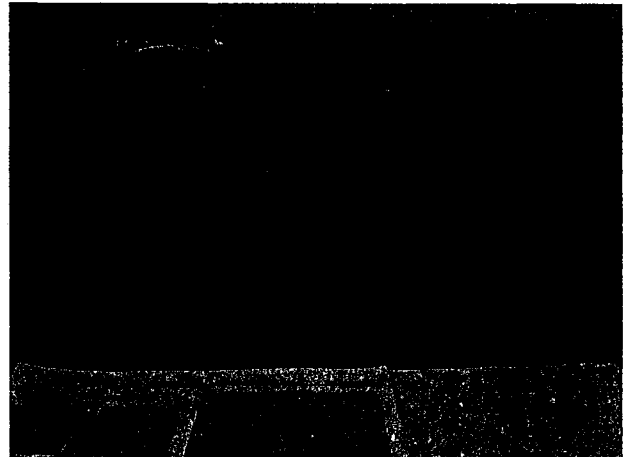
- ・工事体験会と完成お披露目会を実施した。
- ・中でも人気のあるブランコは、数人で乗れる、立ったり、座ったりできるブランコ。

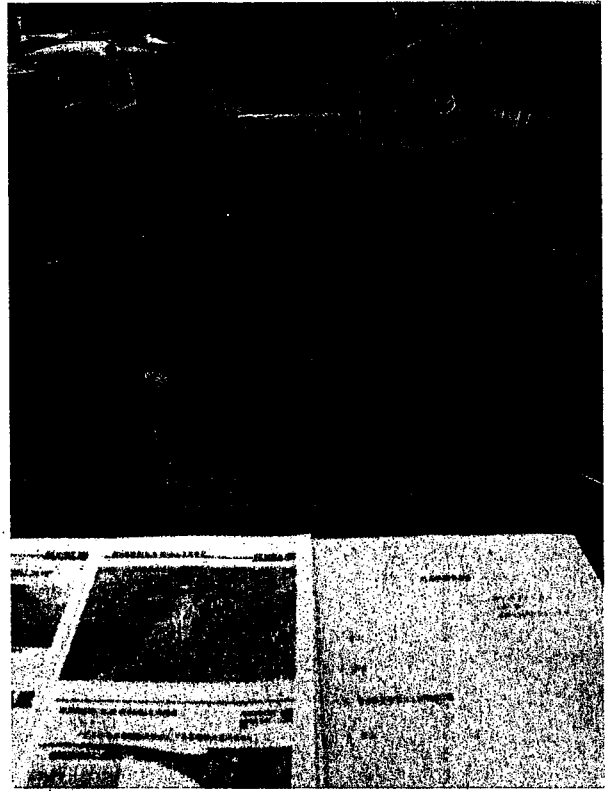
子どもたち、ご父兄、兄弟の声は、ひとりブランコに初めて乗れました。

砂に触って兄弟で遊べた。車いすのままスロープで登れました。

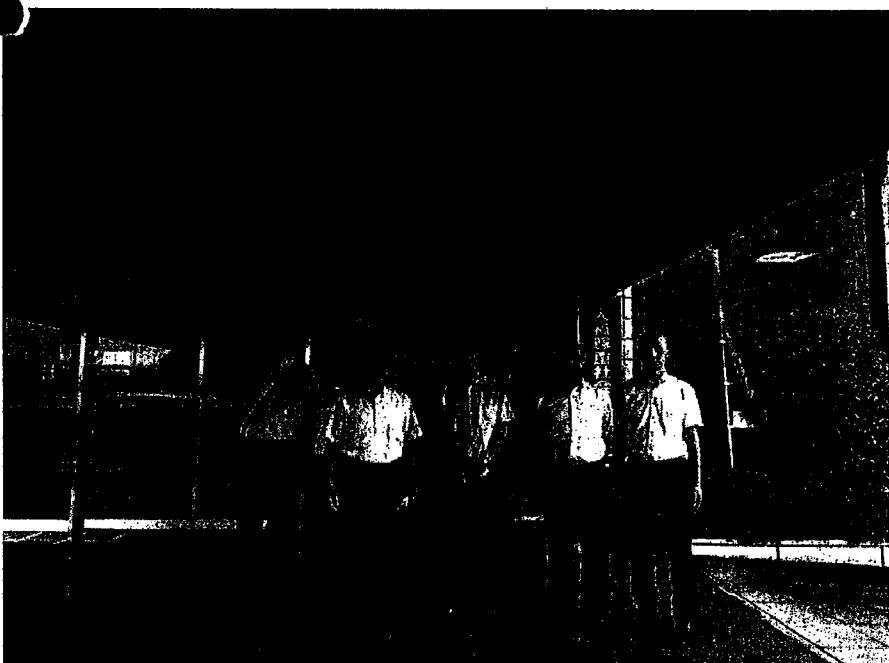
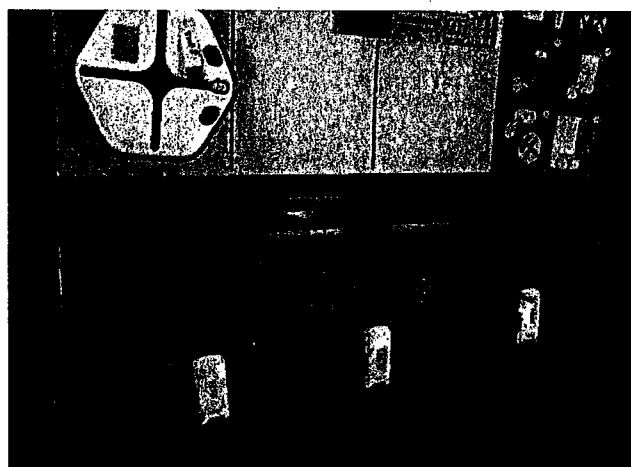
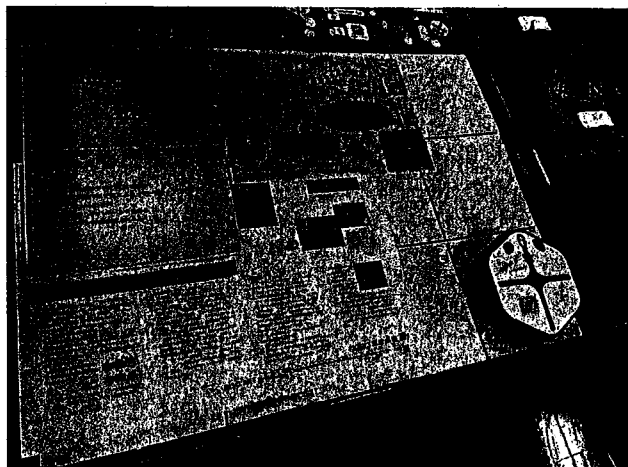
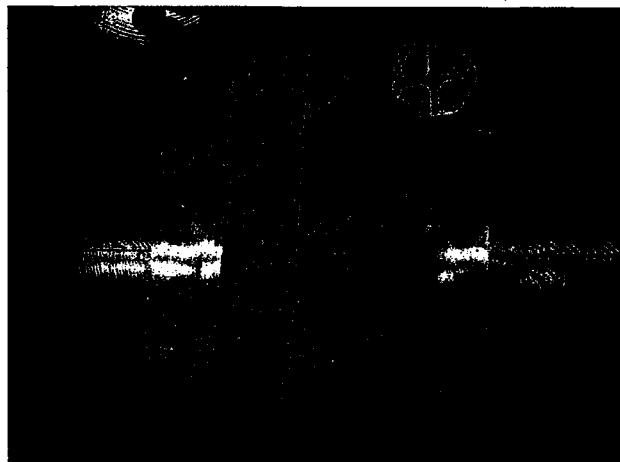
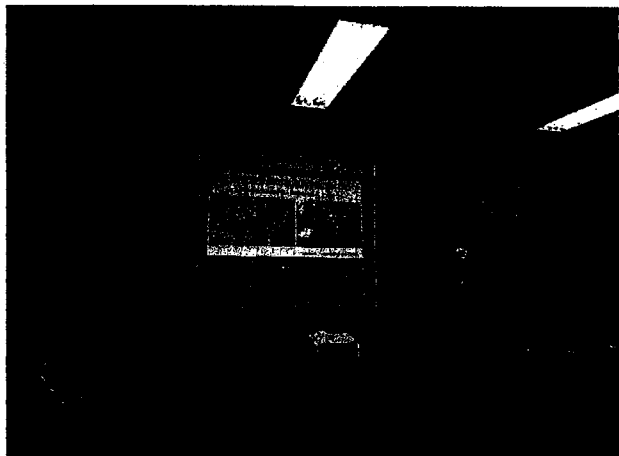
以上、品川区としては「公園がまちづくり」とする発想のもと当初の計画のとおり理念が完結したのではないかと感じた。

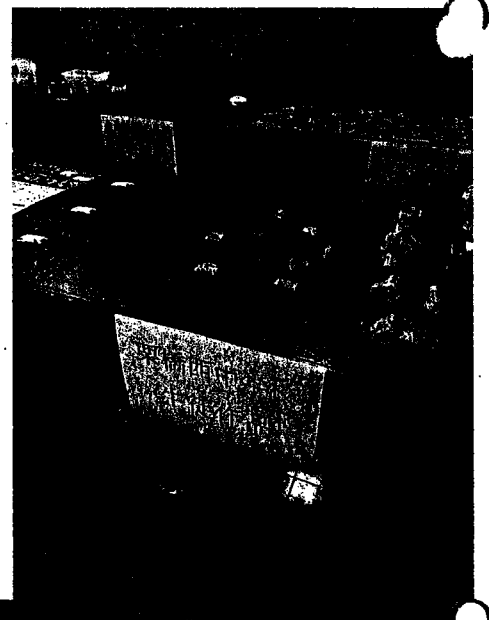
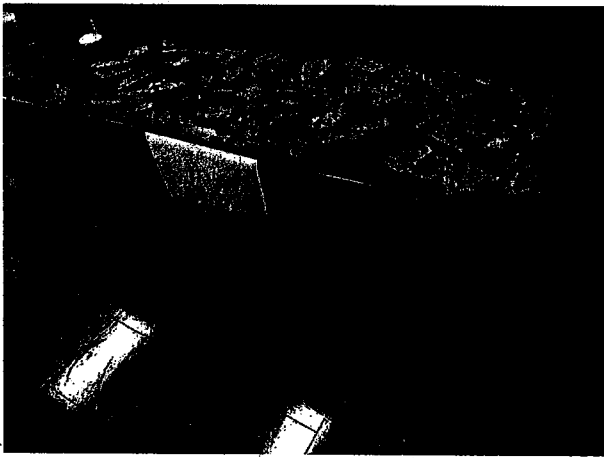
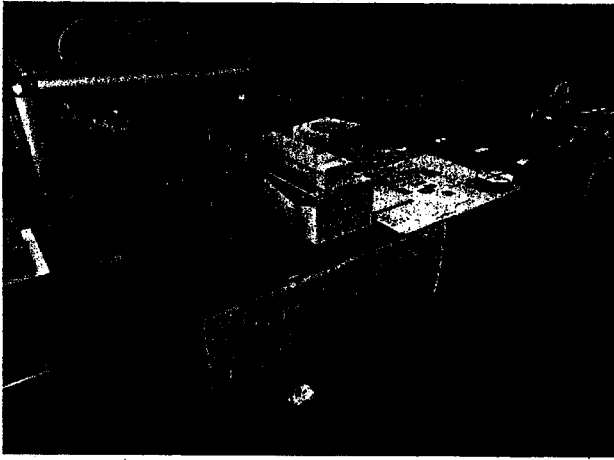
静岡県焼津市





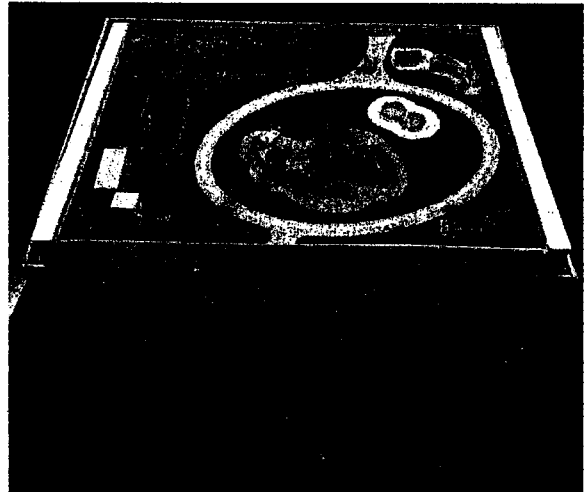
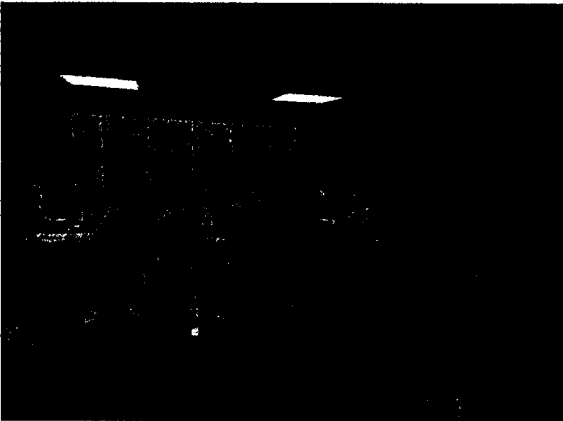
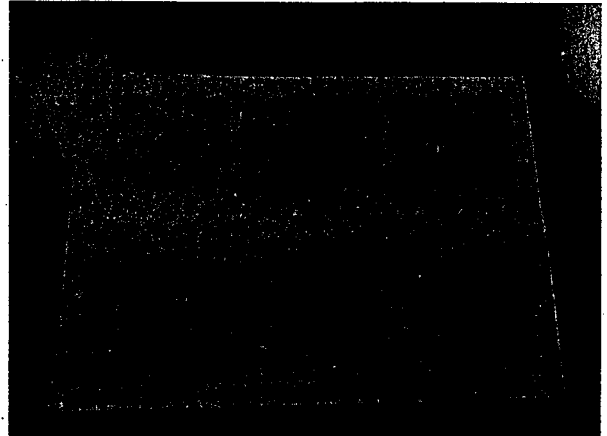
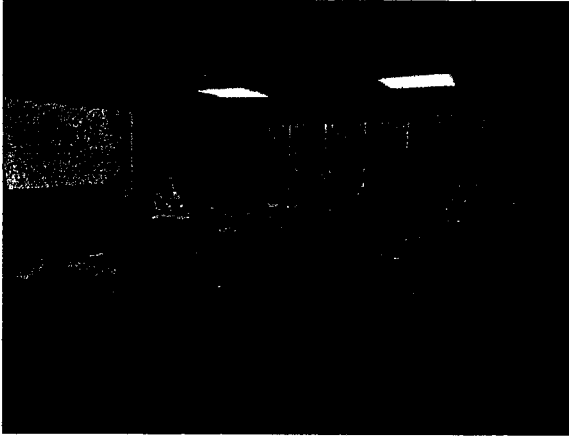
埼玉県久喜市

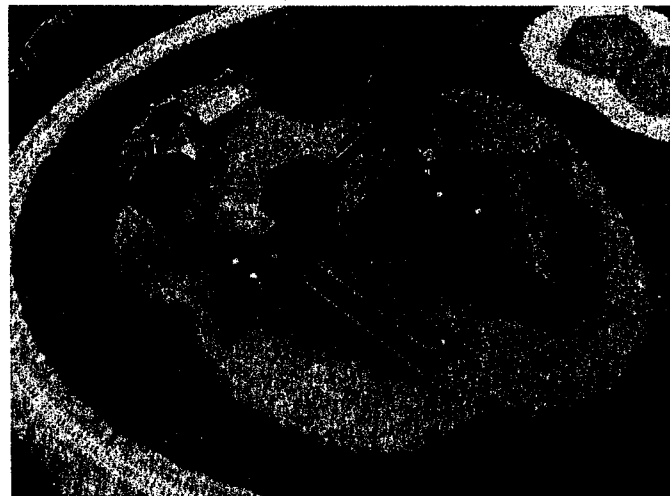
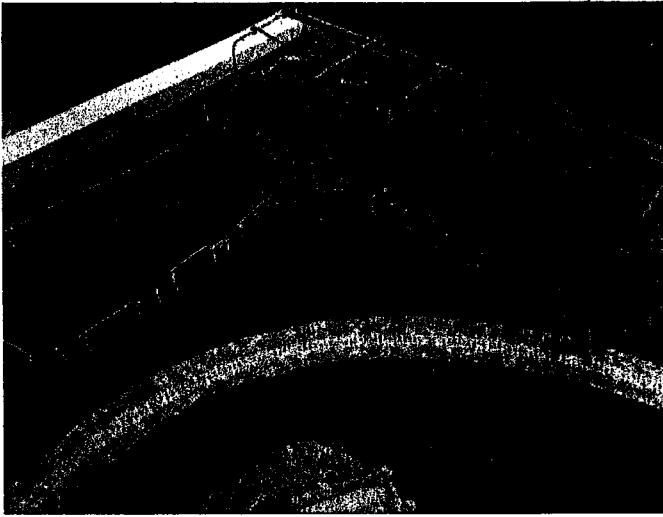






東京都品川区





C

C